

若人の心中に思う

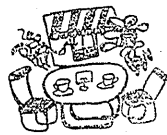
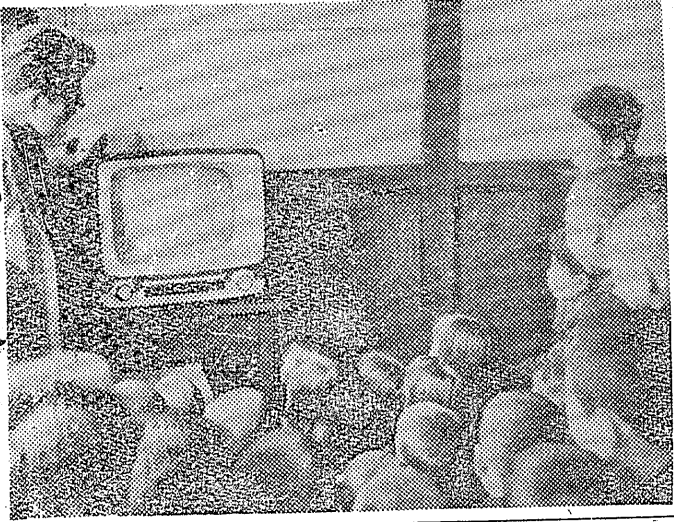
大村 哲也

去る新聞紙上に湯本高校長君とA子さんの心中未遂事件が、大々的に報道された。助かっつてよかつたよなものを、若い学生が相ついで心中するのはどうしたのか。死に行く者の心は第三者には、はかり知れぬものかも知れない。然し若い恋人達が死を志すのは、彼等の家庭や学校や社会とは無関係なものではないだろう。生計を背負う責任の

母校にテレビを寄贈

平市の丸一魚店主志賀盛栄氏

平市立高久小学校(校長田中三三氏、生徒四七四人)の校舎が老朽化したため、改築、生徒たちは木の香新しい教室で勉学に励んでいるが、この改築を記念して五十余年の母校を卒業した人が世話になつた恩として視聴覚の一端として教育効果を上げて下さうと、七時テレビ二台を寄贈、職員はじめ生徒たちから感謝されている。贈り主は平市四丁目丸一魚店主志賀盛栄さん。志賀さんは同校の出身で、次男の豊隆君が



美味しい料理の作り方

1 酢豚(クーローニ)

材料 豚もも肉 50g(塊) スープ 8g(杯) 砂糖 4g(杯) しょう油 4g(杯) 片栗粉 4g(杯) 豚もも肉 2本(塊) しょう油 4g(杯) 片栗粉 4g(杯) しょう油 4g(杯) 片栗粉 4g(杯)

調理 ①豚もも肉を二種角の棒状に切り細かに縦横に包丁を入れて二種位の角に切りおろし生葱、正油、食紅を入れて良く混ぜ合わせる。片栗粉は後で混ぜる。 ②窓も同様二種位の角に切る。人参も同じく乱切りにして下ゆでをしておく。椎たけはいちじょうの形に切る。 ③油の熱した所(豚肉を入れてさつと火を通す程度にして上げ二度目に油の温度を高くして揚げ色のつく程度に揚げる。野菜も椎たけだけ残して上げる。 ④煮汁をボールに合せて置きフライパンに少々油にて椎たけをさつといたため揚げた野菜を入れて火を通し肉と煮汁を入れて強火にして煮て片栗粉を最後に入れる。

2 あじのから揚げ酢あんかけ

材料 小あじ 10匹(少) スープ 1合(5杯) しょう油 1杯(大) 砂糖 1杯(大) 片栗粉 1杯(大) しょう油 1杯(大) 片栗粉 1杯(大)

調理 ①えらとせいを取り腸を出して水気を切っておく。 ②塩炒しようをしてメリケン粉をまぶし強めの火には黄金色に揚げる(骨まで食べる様にする)。 ③野菜は全部細切りとする油でいためスープを入れ最後に片栗粉で味を整える。

3 焼麦(シーマイ)

材料 小麦粉 50g(杯) 豚挽肉 50g(塊) ツツ子 100g(大) しょう油 1杯(大) 片栗粉 1杯(大) しょう油 1杯(大) 片栗粉 1杯(大)

☆皮の作り方 ワンタン向様にうすく致します。 調理 ①肉は脂肪の余り多くない腹肉が宜しいのでキャベツは細切に致します。 ②玉葱はたて半分は切りにして出来るだけ薄く棒状に包丁を入れて更に薄く小口から切つてみじん切りに致します。これを少しずつ布巾につつま、水を絞つて器に入れ全部出たら濃分を混ぜます。次に肉を混ぜ最後に塩を混ぜます。肉を包んだものは蒸かご油をぬるかねれ布巾を敷いて並べます。ふつと煮た時は蒸籠をかけた再び湯気が出たら15分間蒸します。(村山キングスクール提供)

石城は犬の天國

平保、五千頭がひしめく

横行する野犬を徹底的に掃討し、少ないのは川前の三十二頭である。平保、五千頭がひしめく。このほか無登録犬とみられるもの。所管内市町村における登録犬数は、約一割に相当する四百頭である。それによる登録犬とみられるもの。この原因としては、野犬を登録せしめたい者が多く、野犬狩りなど、自分の飼犬が捕まつかうから、五頭、警城市九百二十五頭、最も

警城で養豚 奨励

警城市では今年度から有畜養豚奨励の一環として養豚を奨励することになり、とりあえず豚子十頭を贈り、豚を育てていく方針である。

つてやるのが当然というもので

ある。父兄達より教師達より周囲の年長者の打ち明けた若者が何んでも気軽に打ち明けて話しかけられるような理解のある態度をとらない限り、二人の交際には二人だけの世界にとどめて、独自のやり方、簡単に心中することにもなる。恋する息子や娘をもつ世の親達は、現代の青年に余りに無理解ではないか。恋愛を罪悪視してはいないか。又家柄とか世間体への古風な考え方が息子を苦しめてはいないか。二人が助かっつたことを喜ぶことは勿論、結婚だが二人を心中に這、思いつめられた根本の理由を周囲の関係者はよく反省するべきだ。そして、世間の好奇の眼は、二人の身に肩身の狭い思いをさせるに違いないが、寛大さとはげましの目で見守つてやるべきで、二人の心中に無関係、無責任ではない周囲の者達とのつきあひ程度であることは云々である。

三幸電気部 平三電506

富士商会 TEL. 2144

丸平商店 平市郵便局裏通り 電話三三〇番

東洋酒販株式会社 代表取締役 杉田松太郎 平市欄宣町 TEL 1359・1907